日本災害看護学会　組織会員　メッセージ

日本赤十字社東京都支部 武蔵野赤十字病院
看護部

武蔵野赤十字病院の災害に備えた取り組みを紹介します。

武蔵野赤十字病院は、東京都 23 区のやや西の武蔵野市にあります。赤十字病院ですので、災害拠点病院でもあり、災害時には全国どこへでも出動する体制を作っています。

院内には医師、看護師、薬剤師、事務で構成される、常備救護班を 13 班組織しており、原則月単位で要請があった場合には出動できるようにしています。

年に 2 回、防災訓練を行なっていますが、病院の委員会である「防災・広域災害委員会」が訓練内容を企画・計画します。火災の発生、地震の発生等を想定し、出火場所も輪番に様々な場所を想定します。入院病床だけではなく、医局が想定されたこともありますし、夜間を想定したこともあります。実際の災害はいつ何時発生するか解りません。様々なシミュレーションをしています。

看護部のみの委員会はありませんが、防災・広域災害委員会の副委員長をはじめ、10 人の委員が看護部門から出ています。10 名の選択は本人の希望を優先し選択しています。赤十字病院が災害時に活発に活動していることは、メディアでも度々取り上げられ、一般に広く知られていますので、災害時に活動したい、という意向で当院に就職を希望する人も少なくありません。災害看護に意欲的な人を、部署の偏りがあまりないように人選しています。

委員たちは防災訓練の前には、出火場所となる部署で、机上シュミレーションを実施する等、訓練の成果を最大限にあげるような取り組みも行なっています。